

# 第4回委員会における委員からの主な意見

文部科学省 研究振興局  
参事官(情報担当)付 計算科学技術推進室

	主なご意見	対応
<b>第4回委員会における主なご意見</b>		
小宮山主査	「京」でどこまでできて、ポスト「京」では何を指すのかについて、もっと丁寧で分かりやすい説明が必要。	公募時に丁寧な説明を行うとともに、提案内容については、公募に係る審査委員会において、十分に精査する。
土居主査代理	「京」でどこまでできて、ポスト「京」では何を指すのかを含め、本当にポスト「京」を必要とする課題なのかを別の場で精査する必要がある。	
住委員	サブ課題の内容について、あくまでも例示であり、オープンであることを、特に萌芽的課題では強調すべき。	報告書(案)に反映。 ・サブ課題の内容等は例示であり、今後の公募により決定する旨(2. 3 P9) ・萌芽的課題は、調査研究を通じて、その具体化を検討・精査の上で、その後のアプリケーション開発の実施を判断する旨(2. 3 P9)
土屋委員	計算資源の配分を柔軟にマネジメントすることや調整する機能が必要。	報告書(案)に反映。 ・計算資源配分については、ポスト「京」共用開始後の利用のニーズも踏まえ、柔軟に対応し、必要に応じて見直す必要がある旨(4. 2 P19) ・プロジェクト全体の進捗状況の把握・評価・改善提案・指導・課題間の調整等を行う全体推進機関(委員会等)が必要である旨(3. 1 P12、別添2 P34)
	企業連合が重点課題の受け皿になるよう業界団体の橋渡しをうまく進めて欲しい。	報告書(案)に反映。 ・産業利用枠は、産業界による自社及び企業コンソーシアムの研究課題を対象とする旨(4. 2 P19、別添3 P35)
城山委員	個々の課題の解決だけではなく、課題横断的な寄与も国際競争力の強化につながることも言及すべき。	報告書(案)に反映。 ・個々の課題を俯瞰し、ポスト「京」システム全体として成果を最大化することにより、国際競争力のあるシステムを実現することが必要である旨(はじめに P1)
	コデザイン体制と重点課題の推進体制は、相通じる形で記載すべき。	資料1-2「ポスト「京」におけるターゲットアプリケーションについて」に反映。

	主なご意見	対応
土井委員	各課題の必要な計算資源の見積もりの書き方を統一すべき。	報告書(案)に反映済。 ・各課題の必要な計算資源の算出条件を「実行効率1EFLOPSの15%程度と仮定」で統一(別添1 P21~P33)
	萌芽的課題「⑩基礎科学のフロンティア - 極限への挑戦」に関し、サブ課題で量子力学を扱うのであれば、ImPACTの量子計算機に関するプログラムとの連携を考えるべき。	報告書(案)に反映済。 ・萌芽的課題は、調査研究を通じて、その具体化を検討・精査の上で、その後のアプリケーション開発の実施を判断する旨(2.3 P9)
平尾委員	萌芽的課題「⑩基礎科学のフロンティア - 極限への挑戦」に関し、サブ課題についてはもう少し検討の余地がある。	また、萌芽的課題について、アプリケーション開発を実施することとなった場合には、先に定めた選定方針を満足するか等の観点を中心に審査が行われ、他プロジェクトとの連携を含め、具体的な推進体制が決定される。

	主なご意見	対応
報告書(案)に対する主なご意見(報告書(案)照会時)		
住委員	<はじめに> 「理論、実験と並ぶ科学技術の第三の手法であるシミュレーション」と書かれているが、「観測」を入れるべき。	報告書(案)に反映。 ・「理論、実験・観測と並ぶ科学技術の第三の手法であるシミュレーション」に修正(はじめに P1)
土屋委員	<4. 2>産業利用枠の説明文 「産業界による自社の研究課題が対象」とあるが、「産業界による自社および企業コンソーシアムの研究課題が対象」とすべき。	報告書(案)に反映。 ・「産業界による自社および企業コンソーシアムの研究課題が対象」に修正(4. 2 P19, 別添3 P35)
平尾委員	<3. 1>本プロジェクトの推進体制 「⑤ポスト「京」開発主体」は、「⑤ポスト「京」開発主体(独立行政法人理化学研究所)」とすべき。	報告書(案)に反映。 ・「⑤ポスト「京」開発主体(独立行政法人理化学研究所)」に修正(3. 1 P12)
	<4. 1> 「調整高度化枠」に関する説明も加えるべき。	報告書(案)に反映。 ・調整高度化枠についての説明を追加(4. 1 P18)

	主なご意見	対応
第1回～第3回委員会における主なご意見(報告書に反映予定としていたご指摘) ※委員会後に頂戴したご意見を含む		
城山委員	<p>&lt;第2回委員会&gt; 今回選定される課題では拾えない分野コミュニティでの取組との関係についても説明が必要。</p>	<p>報告書(案)に反映。 ・分野コミュニティについての考え方を記載(3. 1 P11-P13)</p>
住委員	<p>&lt;第2回委員会&gt; 「代表機関」は「計算科学」に限定すべきではない。</p>	<p>報告書(案)に反映。 ・代表機関から(計算科学)を削除(別添2 P34)</p>
	<p>&lt;第2回委員会&gt; HPCI戦略プログラムとポスト「京」アプリケーション開発・研究開発の関係を明確にすべき。HPCI戦略プログラムが終わって、また全く別のプログラムが立ち上がる訳ではなく、ダイナミックに統合されていく意図ならば、誤解を招かないような説明が必要。</p>	<p>報告書(案)に反映。 ・本プロジェクトが、HPCI戦略プログラム終了後は、HPCI戦略プログラムの後継プロジェクトに位置付けられる旨、およびHPCI戦略プログラムの現状と課題やHPCI戦略プログラムからの移行について考慮が必要である旨(3. 1 P10)</p>
城山委員	<p>&lt;第3回委員会&gt; 社会の中で成果を利用する機関・部門をあらかじめ体制に組み込んでおくことが重要。報告書にも、体制の在り方の考え方を記載して欲しい。</p>	<p>報告書(案)に反映。 ・推進体制についての考え方を記載(3. 1 P10-P13)</p>